

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018 年 8 月 17 日作成

研究課題名	進行悪性腫瘍による尿路狭窄に対するメタルステントの有用性
研究の対象	2014 年 1 月 1 日から 2018 年 8 月 31 日までの期間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターで進行悪性腫瘍による尿管狭窄に対して尿管ステントを留置した患者。
研究目的 ・方法	進行悪性腫瘍による尿管狭窄に対する治療法として、尿管ステント留置が挙げられる。従来、ポリウレタン製尿管ステントが使用されてきたが、近年は金属ステントが使用可能となり、治療の幅が広がった。進行悪性腫瘍による尿管狭窄に対する金属ステントの有用性を後方視的に観察研究する
研究期間	西暦 2018 年 10 月 15 日（承認日）～ 西暦 2020 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行悪性腫瘍による尿管狭窄に対して尿管ステントを留置した患者様を対象に尿管ステントの有用性、また症状などにどのように変化があったのかなどを確認します。 ・ 情報：病歴、治療歴、合併症の発生状況、検査データ、カルテ番号など
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科（研究責任者）河原 崇司</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-1962</p>	